

11／10 校長講話 「展覧会を終えて」

「子供たちの無限の可能性を肌で感じ、夏雲小のパワーに圧倒されました。」

この言葉は、先週の展覧会をご覧になったお客様が言った言葉です。

「つづく つながる みんなの思い」をテーマにした「展覧会」。

体育館がまるで素敵な博物館のように変わりました。

1年生は、「にじいろの さかなとなかまたち」

絵本の登場人物を描き、虹色のうろこがついていました。素敵なうろこがついた生き物が嬉しそうに泳ぎ、まるで自分のうろこを自慢しているようでした。

また、「わくわくランチボックス」は自分だけの素敵なお弁当を作りました。お昼前にランチボックスを見ていたとき私のお腹は「ぐ〜っ」となっていました。どれも美味しかったです。

2年生は、「おしゃれなからす」

初めに墨を含ませた布を画用紙の上に落とししましたね。その墨の形はいろいろでしたが想像を膨らませて世界で一番おしゃれな羽を付けたからすが完成しました。眼の位置も工夫されていてとてもかわいらしいからすでした。

「ぎっとしたい わたしのお友だち」は、固い紙を柔らかくしてその中に新聞紙をいれたものです。柔らかくし、新聞紙を詰めるのはとても大変だったんです。そんな苦労を知っているので一つ一つの作品がいとおいしく感じました。

3年生は「夏雲商店街へようこそ」

皆さんはどう思いましたか。私は、来年の夏雲フェスタにお店として出店してくれたら嬉しいなと思いました。絶対商売繁盛間違いなしです。また、「さかさまモンスター」は、怖いモンスターもいれば愛嬌のあるモンスターもありました。一枚に2匹のモンスターがまるでダンスしているようにも見えました。

4年生は「魚群」

初めての木版画に挑戦したんだよね。彫刻刀で魚の模様やヒレを掘るとき初めはドキドキしましたね。虹色に輝く海にいろいろな魚たちが喜んで泳いでいるように見えました。また、「ひみつのツリーハウス」はいたるところにこだわりや工夫があり、見ていてワクワクしました。一件一件、家庭訪問したいなと思いました。

5年生は「反転の世界」

とても不思議な気持ちと、まるでディズニーランドにいる気持ちになりました。こんな思いをしたのは私だけでしょうか。細かな表現も根気強く丁寧に作ったことが見て分かりました。また、「糸のこの寄り道散歩」は、曲線や直線、ザクザク切りにした形を組み合わせでお化けや海の世界、そして宇宙や親子を表現していました。とても素敵な作品でした。家庭科作品「マイ・タオルハンガー」もフェルトを使ってかわいらしい作品が並んでいました。

6年生「空までとどけ夏雲タワー」

東京スカイツリー、東京タワーなど数ある有名なタワーに引けをとらないものでした。形の面白さも個性が出るなと思って鑑賞しました。「思い出のランドセル」は、どんな思いで描いたのかなと思いました。きっと6年間の思いがぎゅっと詰めた作品なんだと思いました。家庭科作品「マイ ソック モンキー」は靴下を使ったぬいぐるみ。愛嬌のあるモンキーたち…一つ一つ愛情を込めて作ったからでしょうか。作った人に似ていました。そして、6年生のギャラリートーク。6年生が、事前に各学年の作品のよさや工夫した点を取材しました。このことを保護者や来賓の皆様へ伝えます。保護者や来賓の皆様からお褒めの言葉をたくさんいただきました。やはり光が丘夏の雲小の6年生は、立派で頼りがいがあるなあと強く感じました。

まだまだ言いたいことが山ほどあります。

テーマにあるように「みんなのおもい」がギュッとつまった展覧会、みんなの力で大成功に終わりました。